

清水町地域おこし協力隊活動状況報告書

清水町長 殿

隊員氏名 長谷川 海

次のとおり活動したことを報告します。

活動報告 2026 年 1 月

1. 実施した活動の概要

1 _ 清水高校魅力発信プロジェクト (SHI MI Z U SK E T C H)

- SNS・探究授業の継続実施および次年度に向けたプロジェクトのまとめ作業
- 高校PJに関連する素材の整理と編集

2 _ 地域連携・まちづくり

- 清水町商工会への表敬訪問および打ち合わせ
- 清水町役場企画課とのプロジェクト推進協議
- 札幌エリアの地域おこし協力隊とのネットワーク構築・意見交換
- 上川町視察
- 宿借商店考察、SNS 構想

3 _ 映像制作・広報活動

- 撮影・音源編集および納品対応
- 外部案件の動画制作・納期対応

| |
|---|
| <p>2. 活動の成果</p> |
| <p>清水高校魅力発信プロジェクト 1月は次年度に向けた「高校PJ」のまとめ作業を重点的に行いました。SNSを活用した探究学習において、生徒たちの活動をより効果的に発信するためのスキームを整理し、来年度のさらなる解像度向上に向けた土台を作ることができました。</p> <p>地域連携・ネットワーク拡大 商工会や役場企画課との協議を通じ、町内の事業者や行政との連携をさらに深めました。また、札幌エリアの協力隊や上川町との交流により、清水町を外から見る視点や、他地域での成功事例を共有する機会を得ることができ、今後の活動のヒントを得ました。</p> <p>映像制作による地域・文化の発信 引き続き定常的に行っている撮影・編集を通じ、地域のストーリーを形にする活動を継続しました。クリエイティブ面では、外部納期にも柔軟に対応し、プロレベルのクオリティを維持しながら、町の広報活動に資する技術の研鑽に努めました。</p> |
| <p>3. 活動の課題や改善点等</p> |
| <p>1月は年始の挨拶回りや各種協議、複数の映像編集納期が重なり、タスク管理の重要性を改めて認識する月となりました。「宿借商店」や、清水町リビング構想(仮称)といった新規プロジェクトの具体化に向けた思考時間と、実務（編集作業）のバランス調整が課題です。2月はより計画的に、アウトプットの時間を確保していきたいと考えています。</p> |
| <p>4. 翌月の活動予定</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ・「SHIMIZU LIVING Project」の推進（7th Base、Musubi、SHIMIZU SKETCHの具体化） ・宿借商店プロジェクト：事業計画の更なるブラッシュアップ ・関係人口の拡大を図る |
| <p>5. 特記事項（要望や意見等）</p> |
| |